

1960年8月10日創立

2013~2014年度

第54代会長 出口敬純

第54代幹事 横山 貢



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2014年1月30日(木) 第2612回例会 天候:晴れ 司会:古知屋光洋副幹事 No. 28

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱 「手に手つないで」「我らは二度生まれる」
- ◇会長挨拶
- ◇卓話 杉本行廣君「追悼記念週間に因んで」
- ◇黙祷
- ◇幹事報告

◎ゲスト・ビジター紹介

森井信太様(藤沢南RC)

◎幹事報告

◇国際ロータリーより

2月度ロータリーレート 1ドル=102円

◇熊平雅人様(東京RC)より 「抜萃のつづり その七十三」寄贈

※株式会社熊平製作所 創始者 熊平源蔵氏(S53年没享年97歳)が、社会貢献の思いをこめ昭和6年に創刊。1年に1冊発行。その意志を引き継ぎ熊平雅人氏が、最近1年間の新聞、雑誌、書籍などから珠玉のエッセー、コラムを抜粋した「抜萃のつづり その七十三」を全国八万四千ヶ所の団体・個人に寄贈する。

◎例会変更

☆茅ヶ崎湘南 3/5(水) ⇒3/3(月) 18:30点鐘 グランドホテル湘南 (平塚・かながわ・茅ヶ崎3湘南RC合同例会)

☆茅ヶ崎中央 3/21(金) 休 会 (祝日のため)

☆寒川 2/10(月) ☆茅ヶ崎湘南 2/5(水) ☆茅ヶ崎中央 2/7(金) ☆綾瀬春日2/5(水)

⇒上記いずれも 2/8(土) 14:00点鐘 寒川神社 参集殿 (第4グループ合同例会・IM開催)

☆平塚南 1/31(金) ☆平塚北 2/4(火) ☆平塚西 2/5(水)

⇒上記いずれも 2/1(土) 13:00点鐘 大磯プリンスホテル国際会議場 (第8グループ合同例会・IM開催)

◎会報 着 綾瀬・寒川



左) ソング吉田会員 上) 加藤会場 監督、古知屋副幹事 下) 出席・大 箭会員 スマイル・杉田会員

スマイル報告 杉田祐一会員

森井信太様(藤沢南RC) 池上様、6回の卓話は南クラブの財産になりました。本当にありがとうございました。又、3グループのIMのウェルカム演奏、よろしくお願ひ申し上げます。

出口敬純君&横山貢君 来週はIMです。2/8(土)なので間違えないようにお願いします。杉本先生、卓話 よろしくお願ひします。

池上 實君 藤沢南RC森井会長ようこそ。杉本さん、卓話久しぶり!楽しみです。各テーブルの私の門下生の「おことの会」のプログラムごらん下さい。

伊藤留治君 杉本さん、スピーチ期待します。

田中賢三君 杉本先生の卓話、良く聞いて忘れないように心したいと思います。

◎出席報告 大箭剛久会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
1/30	2612	38	32+2	28	0	6	82.35%	
1/16	2610	38	32+4	30	0+2	4	83.33%	88.89%

杉本行廣君 藤沢南RCの森井さん、よくいらっしゃいました。今日は卓話の当番です。下手な話をしますが、よろしくおねがいします。おつきあい下さい。

加藤 寛君 本日は旧暦の“おおみそか”です。皆様、お風邪等を引きませんように。

斉藤信夫君 杉本先生、卓話楽しみです。

程島利通君 杉本さん、卓話期待します。

和田幸男君 杉本先生、卓話よろしくお願いします。

河本啓伸君 スーパースターの河本です。先週皆さんにプレゼントしたCDを車の中で聴いて事故が起こった場合、責任は取りかねますので、よろしくお願いします。

加瀬義明君 藤沢南RC森井様ようこそ。杉本さん、卓話宜しくお願ひ致します。

澤邑重夫君 藤沢南RCの森井さん、ようこそいらっしゃいました。杉本先生、卓話よろしくお願いいたします。

西山国男君 杉本さん、卓話よろしくお願いします。

清水賢一君 お客様ようこそ。杉本さん、卓話楽しみにしています。

椋梨晴喜君 今日は夜間例会ですので、ゆっくり昼間、体のケアをしまりました。

中山富貴子君 久しぶりの夜間例会、少し温かくて良かったですね。杉本さん、卓話楽しみに聞かせて頂きます。

大木 暁君 昨日、人事異動があり、課長が昇格で転出することになりました。よかったです。ホッとしています。

大森久巳男君 杉本会員様、卓話宜しくお願ひします。

[本日 20 件、26,000 円です]

会長は、京都電灯の社長でありました石川芳次郎氏。石川会長は「ロータリークラブというのは世界的な組織であって、私たちは皆、良質な職業人です」職業を通じて世のため人のために働いているので、決して国の利益に反することではありません」と言ったのですが、納得してもらえず「証を立てろ」と迫られました。

そこで石川会長は、証を立てるために二つの条件を提案しました。それが、例会で「君が代」を斉唱することと、例会場に「日の丸」を掲揚することでした。その後、ロータリークラブの例会では「日の丸」を掲げ、「君が代」を歌う慣例ができました。これは、私たちの先輩が軍閥の弾圧を逃れるために、血のにじむような思いで開発した慣例であります。したがって、皆さんは、例会でただ何となく「日の丸」を掲揚し、「君が代」を歌うのではなく、そのことを心にとめておいていただきたいと思います。

[第2680地区深川純一バスタガバナーによる回想より]

1936年、所謂2:26事件が起きた。そして、その翌年の7月に日華事変が勃発した。それは止ることなく、ついに1941年12月太平洋戦争へとつながっていった。こうした情勢の下にあって、ロータリーはどうあるべきかの議論は内外から起きた。ロータリアンは祖国に忠誠であるべきとするロータリーの本義は、到底一般の理解を得られるものではなかった。国際団体であるという理由だけで、ロータリーは反戦的であり、亡国的であると断じる一般の誤解は、重圧となって、ひしひしとロータリアンに襲いかかって来た。そこで対策として日満だけのロータリー組織を新設してRIから独立した形を作り、国際的なつながりを制限した組織形態によって一般の誤解を和らげ、他面、国内の一般情勢の影響から逃がれられずに動揺する会員の気持ちを日満独自の運営という提案によって収拾し、内部結束を保持しようとしたのであった。

それは、1939年の別府に於ける地区大会の決議となった。既に活動を開始していた日満連合委員会は、幹事の芝染太郎を、急速同年のクリーブランド国際大会に派遣し、日清ロータリー組織の設置を決議するよう要請した。しかし、情勢は極めて不利で、その決議案は撤回されたが、日満連合委員会は、後日、RI理事会の配慮によって承認された。しかし、これらのすべては徒労に終わった。ロータリーに関する世間の誤解は、ロータリーに対する攻撃に転じ、スパイ呼びわりさえされる始末となった。新聞紙上でも、ロータリー解散すべしと論断された。1940年8月14日の例会に於いて、遂にクラブ解散の問題がとり上げられ、賛否両論が沸騰した。

日満連合委員会では、国家単位にロータリーを改組することを提案し、もしそれがRIに容れなければ、国際ロータリーから脱退する方針を定め、各クラブに通告した。しかし、時の動きは余りにも速く、世情の重圧は既に支え切れないところまで来ていた。9月11日、東京ロータリークラブは遂に解散した。創立者、米山梅吉は、重い足を引かずするようにして壇上に立った。そして、奉仕の理想はあくまで堅持したいと、20年にわたったロータリー歴の最後の言葉を残したのであった。かくて、午後1時45分、会長中山龍次は、解散を告げる閉会の鐘を鳴らしたのであった。

『東京ロータリークラブ50年のあゆみ』より]

日本のすべてのクラブがRIを脱退しましたが、日本からロータリーの灯が消えてしまったわけではなかったのです。名称を変えて新クラブを発足したクラブは29あったようですが、その名称の多くが例会の曜日にちなんだものでした。そのほか、名古屋同心会、札幌職能奉仕会、横浜同人会のような名称も見られます。このような試練の時期を乗り越えて、戦後、日本のロータリークラブは次々にRI復帰を果たします。今、長引く不況や社会状況の変化によって、会員数は減少をし続け、ある意味で試練の時を迎えているといってもいいのかもしれませんが。この試練を乗り越えるために、戦時中のロータリアンたちに思いを馳せてみて下さい。『ロータリー日本五十年史』より]



卓話 杉本行廣君

「追悼週間に因んで」

＝卓話者プロフィール＝

すぎもと ゆきひろ

1936年2月20日生まれ

司法書士

杉本総合事務所所長

1972年入会 1987-88年度会長

現年度：ロータリー財団委員長

今日は追悼週間ということですが、ロータリーには4つの特別週間というものがあります。「世界インターアクト週間」(11月5日を含む1週間)「追悼記念週間」(ロータリーの創始者ポール・ハリスの命日1月27日を含む1週間)「世界理解と平和週間」(2月23日～3月1日)「世界ロータリーアクト週間」(3月13日を含む1週間)で、「追悼記念週間」は、物故ロータリアンの瞑福を祈り、生前の貢献を記念する週間です。

記念週間に因みまして、ロータリークラブが生まれて百年を経過した折に「ロータリーの友」の掲載された記事(2006年1月号、『国際ロータリーの試練』)をご紹介しますと思います。

※掲載誌面の都合上、一部編集してあります

(昭和初期以降)日本のロータリーは軍閥の弾圧を受けました。ロータリークラブというのはアメリカに本部があり、「アメリカのスパイの手先だ」と、軍閥があらゆる弾圧を加えました。昭和八年、京都RCに右翼の壮士の一団が押しかけました。時の